

# CLEAN UP

## 新年によせて

新年あけましておめでとうございます。皆様、日ごろのご活躍、心から感謝申し上げます。「リサイクルフェスティバル」や二回の視察研修に私も参加させて頂きました。何処の地域も品数多くのリサイクル推進に取り組み姿に心意気を感じました。

昨年は、世界中で、異常高温、洪水、台風、地震など相次いで発生しましたが、地球温暖化の影響が大きいのではないのでしょうか。日本も、温暖化を防止するために決まった、新たな枠組み「パリ協定」の批准が完了したとの報道がありました。

地球環境保全のため、循環型社会の必要性など、次世代のために、私たち大人が今できることを行動で示し、教えていく大切さを痛感しています。推進員の皆様にはたいへんお世話になります。向寒の折、お身体を大切に、皆様にとって良い年になりますようにと願っております。

平成二十九年元旦



公益財団法人 ちとせ環境と緑の財団  
理事長 五島 洋子

## 平成二十九年 今年も元気で頑張りましょう

推進員の皆様、環境と緑の財団関係者の皆様、旧年中は、公私共に大変お世話になりましたこと、心より感謝申し上げます。本年も昨年に倍して皆様のご協力をお願いいたします。

昨年の北海道は、大きな台風が連続して上陸し、特に十勝、上川両管内に甚大な被害をもたらしました。日本全体に見ても異常気象と思われませんか。これからもどの様な冬になるのか気掛かりですね、雪は推進員にとっては大敵です。

推進員も高齢化が進んでおります。どうか、今年は大雪にならないことを願いつつ、これからは厳冬期に入りますので、絶対無理をせず、リサイクルボランティアとして、町内会の資源回収のご指導・お手伝いを宜しくお願いいたします。

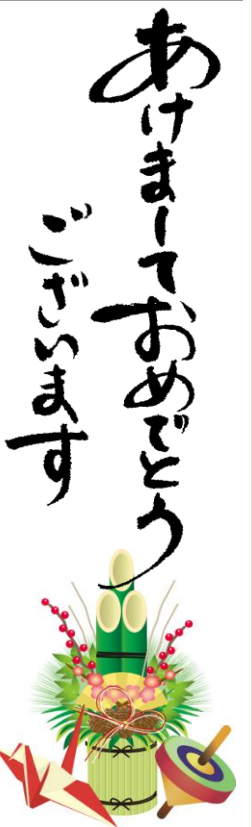
推進員、財団関係者皆様の益々のご活躍とご健康、そして希望に満ちた幸せな一年であることを、ご祈念申し上げます。現在、喪中のため新年のご挨拶はご遠慮申し上げます。

平成二十九年元旦



クリーンアップ推進員会  
会長 齋藤 邦男

発行責任者  
公益財団法人  
ちとせ環境と緑の財団  
理事長 五島 洋子  
Tel 0123-26-1213



## 平成二十九年も住みやすい環境を守る！ 集団資源回収活動へのご協力を！

あけましておめでとうございます。日頃からごみ減量・リサイクル活動へのご活躍に心より感謝申し上げます。日本で一年間に使われる資源は約十九億トンとのことです。(このうち、リサイクル資源は約十三%)。資源やエネルギーの大量消費は地球温暖化をまねき、異常気象の発生・伝染病の流行などのリスクの拡大とともに、いつか資源がなくなってしまうかもしれません。

本年も「もったいない」精神で、ご活躍をお願い申し上げます。

平成二十九年元旦



公益財団法人 ちとせ環境と緑の財団  
常務理事 長谷川 盛一

## クリーンアップ推進員の皆様、 新年、明けましておめでとうございます

皆様方には、穏やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。私が、財団の事務局を担当しまして、はや六年が経とうとしており、この三月をもちまして退職を迎えることとなりました。

この間、クリーンアップ推進員会や研修会をはじめ、リサイクルフェスティバルでは、夏場の暑いさなか、多くの方々にイベントを支えていただき、本当にありがとうございました。

集団資源回収も新システムになり四年が経過し、多くの町内会や自治会などに参加をしていただき、皆さんで循環型社会をつくりあげていると確信をしております。

四月からは、新しい事務局長になると思います。私同様、よろしく願っていますとともに、この一年が、皆様にとって健康で幸せな年であり、ご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

平成二十九年元旦



公益財団法人  
ちとせ環境と緑の財団  
事務局長 太田 信英

## 謹賀新年

- 総務課 中原 美由紀
- 総務課長 須貝 陽子
- 事業課 田嶋 直人
- 事業課長 津田 智穂
- 主任 富山 郁夫
- 主事 佐藤 淳
- 主事 富山 郁夫
- 係長 今堀 利恵子
- 主事 小濱 紀行
- 主事 川瀬 輝久
- 緑化振興係

## 集団資源回収を訪ねて

今回は、ポレスターステーションビルズ千歳を紹介します。地上10階地下1階建てで、総戸数が35戸のマンションです。こちらでは資源回収を採用しています。資源庫の中を拝見すると、新聞が山積みとなっていました。全て8つ折りにされ、ビニール袋に入れるか、十文字に紐で縛り積み重ねられていたため、崩れることもなく、排出マナーの良さが感じられました。



小さめの資源庫でも、利用者が出しつかりと排出マナーを守ること、効率よく



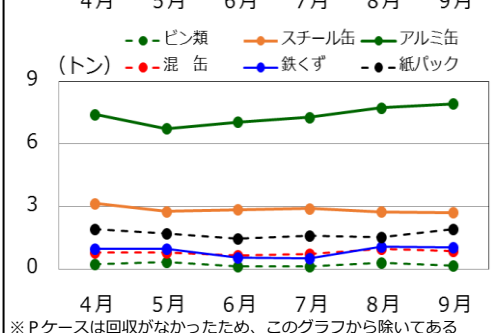
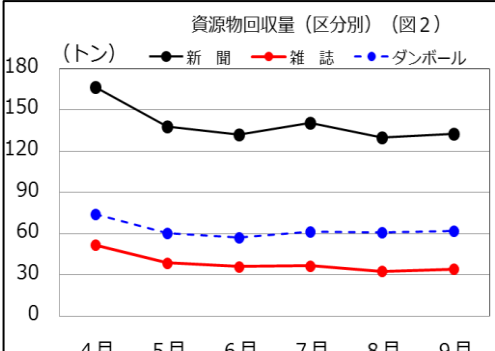
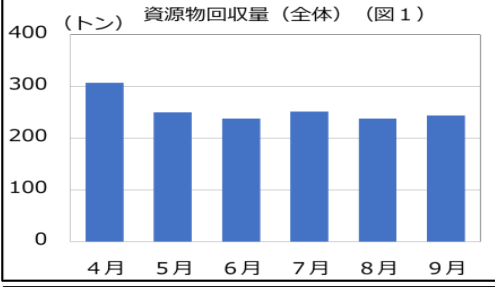
集められることを実感しました。それでも資源庫でスペースをとってしまうダンボールや、庫内の動線を確保するために収まりきらない一部の資源物は、屋内駐車場の一角を使用して集められていました。こちらでも種別ごとに分けて置かれ、管理が徹底されていることがうかがえました。

整理整頓されているのは、不要なものではなく、大切な資源であるという意識の表れなのではないかとさえ感じました。

## 平成28年度上半期 集団資源回収の結果

千歳市における今年度上半期の月ごとの回収量(図1)は、4月を除き、250トン前後で推移している。4月に回収量が増えているのは、転入・転出等に伴って処分されたものが多かったのではないだろうか。

また、区分別の回収量(図2)をみると、アルミ缶が5月以降に継続的に増加している。これは、5月以降の気温上昇に伴い、缶やペットボトル飲料の消費が増えたことによるものだと推測される。これを踏まえると、スチール缶もアルミ缶と同様の動きを取るのではないかと考えるが、昨今、缶飲料ではスチール缶からアルミ缶等への移行が増えており、それによって、缶ではアルミ缶のみが増えているのではないかと考えられる。



※Pケースは回収がなかったため、このグラフから除いてある



### 千歳市のごみ処理のこれから

千歳市はごみ処理にかかわる8つの課題の達成に取り組んでいる。

その課題の中から、今回、ごみ処理の広域化について取り上げたい。

各市町村が処理することとされている各家庭から排出されるごみを、複数の市町村が共同で処理することを「ごみ処理の広域化」という。ごみ処理の広域化によって、各市町村で保有していた施設を1つに集約できるため、施設の建設費と維持管理費の削減や二酸化炭素の発生抑制などに繋がることが出来る。

こうした経済的負担の縮減や環境負荷の低減を目的として、2市4町(千歳市、北広島市、南幌町、由仁町、長沼町、栗山町)で、平成36年度からの新たな焼却施設による共同処理に向けた取組を進めている。

計画どおり、平成36年度から新たな焼却施設が稼働した場合に、現在、破碎施設で処理している「燃やせないごみ」について、一部を焼却処理する予定である。これにより、最終的に埋立処分する容量を減らし、最終処分場の延命化を図ることが可能となる。

ただし、この様に最終処分量を減らすことは可能となるが、廃棄物処理においては、ごみを排出する段階での正しい分別が基本となる。

平成28年10月の千歳市環境センターが行った調査では、家庭ごみの「燃やせないごみ」にプラスチック製容器包装と4種資源物が半数以上を占める結果となった。

私たち消費者は排出者責任の考え方にに基づき、正しい分別を行うことで、資源になるごみの排出量を抑制することが重要である。

#### 千歳市のごみ処理の課題

- 1.ごみの発生抑制
- 2.ごみの分別・リサイクル
- 3.収集運搬体制
- 4.ごみ処理施設
- 5.産業廃棄物
- 6.ごみ処理費用
- 7.広域化
- 8.在宅医療廃棄物

(参考) 『千歳市一般廃棄物処理基本計画』 千歳市発行

### 日本における近年のリサイクル動向

循環基本法(循環型社会形成推進基本法)を始めとした各種リサイクル法が制定され、「循環型社会元年」と呼ばれた平成12年と比較して、平成25年は全国の廃棄物の最終処分量が70.9%減の約1630万トンと大幅に低減し、また、循環利用率は6.1%増の16.1%と着実に増大している。

一方で、3Rの中で、リサイクルより優先順位が高く、循環型社会の構築に必要な2R(リデュース及びリユース)への取組が遅れていたため、平成25年以降は2Rへの取組に積極的な力を注いでいる。日本各地で、レジ袋の削減、マイボトルの利用促進、リユース食器の利用促進、使

用済製品のリユース、古布・古着のリユースなどといった取組を通して循環型社会の構築への動きが活発に行われている。私たちが、身近なところからこれらの取組に参加してはどうだろうか。

Reduce (リデュース) 使う資源やごみの量を減らすこと  
Reuse (リユース) ものを繰り返し使うこと  
Recycle (リサイクル) 使い終わったものを資源として、再利用すること

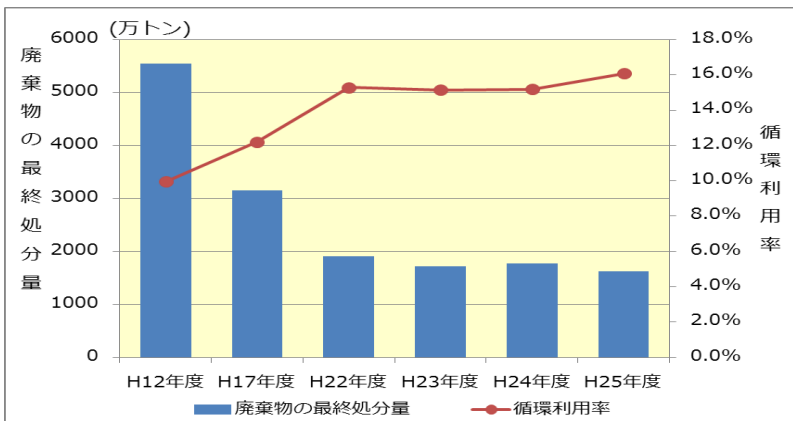
#### 3Rとは、

Reduce (リデュース)、Reuse (リユース)、Recycle (リサイクル) の3つの英語の頭文字を表し、その意味は次のとおりで、上から順に優先順位が高いとされています。消費者として、事例の行動などで実現させることができます。

消費者は、  
・詰め替え製品を利用する  
・量り売り、ばら売りを利用する

消費者は、  
・不用品は必要な人に譲る  
・マイ箸を持ち歩いて使う

消費者は、  
・ごみを地域の分別ルールに従い排出する  
・再生材を利用した商品を買う



(参考) 『一般廃棄物の排出及び処理状況等について』(平成12年から平成25年分) 環境省発表  
『産業廃棄物の排出及び処理状況等について』(平成12年から平成25年分) 環境省発表  
『平成28年版 環境統計集』 環境省発行

### 平成28年度

#### 第2回クリーンアップ推進員研修会

平成28年9月29日

(木)に、クリーンアップ推進員25名、環境センター職員1名、財団役職員5名の総勢31名で、富良野市リサイクルセンターの施設見学を行った。

まずは、富良野市が行っている「燃やさない・埋めない」を基本とする14種分別について、現在に至るまでの経緯の説明を受けた。

その後、「大型・電気ごみ処理庫」、「草選別庫・草堆肥堆積場」、「固



形燃料化施設」を巡り、どの様に処理されているかを視察した。

ここ富良野市リサイクルセンターに搬入される固形燃料ごみ(紙製容器、衣類、わたくずなど)には水分の多い生ごみや紙おむつが含まれないため、乾燥設備を伴わない小規模での低コスト運営と、衛生面でも問題ないため手選別工程を設けることができた。これが特徴的であった。

各家庭で行える分別がリサイクル処理過程で、人と環境に負担を与えないエコ活動に繋がることが実感でき、今後、地域における資源回収での分別の徹底を行うための指標となった。最後に、富良野市リサイクルセンター職員の「私たちは、ごみを処理するのではなく、原料を商品として作り、販売している」という意識を常に持って仕事にあたっている」という言葉に今回の研修に参加した多くが感銘を受けた。



#### 財団からのお知らせ

##### ●活動資金のお支払について

財団では、クリーンアップ推進員の皆様に、活動資金を3月下旬までにお支払いするため、案内を3月上旬までに送付します。詳細については、案内文に記載されますので、ご確認ください。

##### ●任期について

クリーンアップ推進員の任期は委嘱の日から2年です。今年はずべての推進員が任期満了を迎えます。財団から町内会長等へ推薦書をお送りいたしますので、ご確認いただきます様にお願いいたします。

**オフィスのプリント環境を考える**

RISO 世界最速カラープリンター オルフィス GDシリーズ

Community & Solution

株式会社 カミノ

本社 千歳市新富3丁目3-24  
TEL (0123) 23-4255  
FAX (0123) 24-1381

千歳支店 千歳市南富3丁目3-24  
TEL (0123) 23-4255  
FAX (0123) 24-1381

千歳支店 千歳市南富3丁目3-24  
TEL (0123) 23-4255  
FAX (0123) 24-1381

この推進員だよりの発行には(株)カミノ様のご協力をいただいております。